

日本鉄鋼協会記事

編 集 委 員 会

第9回和文会誌分科会 開催日: 11月2日. 出席者: 松下主査, ほか 14名.

1. 論文審査報告
掲載可 1件, 修正依頼 8件.
2. 計測特集号について
技術資料 4件を執筆依頼することになり, ほかは計測部会開催時に投稿を呼びかけることになった.

第9回欧文会誌分科会 開催日: 11月24日. 出席者: 中村正久幹事, ほか 6名.

1. 1件の論文について審査報告がなされた.
2. 「鉄と鋼」57年13号から4件の論文について投稿を勧誘することとなった.

第6回講演大会分科会 開催日: 10月29日. 出席者: 堀川一男主査, ほか 14名.

1. 第82回講演大会に関する報告
2. 講演概要集増頁に関する会告案について事務局案に検討を加え, 作製した.
3. 第83回(春季)講演大会講演申込締切について. 締め切り日は昭和47年1月20日(木)に決定. 春季大会は, 4月4~6日武蔵工業大学で, 秋季は10月18~20日名古屋大学で開催される予定.

出版分科会 開催日: 12月3日. 出席者: 佐藤主査, ほか 11名.

1. 鉄鋼製造法に関する件
原稿の進捗状況報告があり, 今後のスケジュールを検討した.

共 同 研 究 会

製鋼部会 開催日: 10月25, 26日. 出席者: 石原部会長, ほか 120名.

1. 第50回記念特別講演
 - (1) 「国民経済における鉄鋼業の役割」
神戸製鋼所 社長 外島健吉氏
 - (2) 「鉄冶金学からみた製鋼技術の未来像」
大阪大学 教授 足立 彰氏
 - (3) 「70年代の製鋼技術について」
製鋼部会 部会長 石原重利氏
2. 共通議題
 - (1) 製造技術, 装置の改良改善に関する研究
 - (2) 公害に関する研究
 - (3) 省力化に関する研究
 - (4) 新設備の紹介
3. 工場見学
神戸製鋼所 加古川製鉄所

.....
特殊鋼部会 開催日: 11月18, 19日. 出席者: 中野

部会長, ほか 91名.

11月18日

1. 共通テーマ
特殊鋼の品質と製造技術に関する研究
2. 自由テーマ

11月19日

工場見学

日本鋼管 京浜製鉄所
日本金属工業 相模原工場

鋼 板 部 会

第14回コールドストリップ分科会 開催日: 11月9, 10日. 於東洋鋼板下松工場. 出席者: 清水部会長・兒子主査, ほか 82名.

1. 研究発表
 - (1) テーマ研究
「廃酸・廃水処理設備について」全19作業所から, 発表があり, 質疑を行なった.
 - (2) 自由議題
 - (a) タイトベル型焼鈍炉増設にともなう事前省力(日新・堺)
 - (b) 焼鈍炉の計算機制御(新日鉄・名古屋)
 - (c) 形状検出器の精度(新日鉄・名古屋)
 - (d) No.1スリッター設備改造(大同鋼板)
 - (e) 中間工程コイルの防錆処置について(東洋鋼板・下松)
 - (f) オープンコイルに発生するBLACK SPOT(住金・和歌山)
 - (g) 福山製鉄所第3電解清浄設備について(鋼管・福山)
 - (h) 焼鈍雰囲気ガスの再使用設備(川鉄・千葉)

2. 工場見学

東洋鋼板下松工場を見学し, 質疑を行なった.

条 鋼 部 会

第15回大形分科会 開催日: 10月21, 22日. 於新日鉄釜石製鉄所. 出席者: 渡辺主査, ほか 61名.

1. 研究発表
 - (1) 工場操業状況
昭和46年6月, 7月, 8月分を, 各事業所(14事業所)から3要点の発表と質問状による質疑を行なった.
 - (2) テーマ研究
 - (イ) 矯正作業の現状と問題点
 - (ロ) デスケーリング作業の現状と問題点
 各事業所から発表がなされ, 質問状を中心に討議を行なった.

- (3) 自由研究
川崎製鉄・葦合工場から、
「新エッジローラの開発について」の
発表があり、質疑を行なった。

2. 工場見学
新日鉄・釜石製鉄所の大形工場を見学した。
3. 次回開催について
次回は S47 年 4 月に、東伸姫路と新日鉄広畑の
共催とし、テーマのアンケートを行なった。

鉄鋼分析部会

開催日: 10 月 30 日。出席者: 池野部会長, ほか 61 名。

1. 各分科会の活動報告
2. 部会, 分科会の 47 年度予算について
3. 公害関係アンケートについて
4. 鉄鋼標準試料委員会報告
5. 工場見学

日立金属 安来工場

発光分光分析分科会 開催日: 10 月 29 日。出席者:
河島主査代行, ほか 42 名。

1. 共存元素の影響度調査実験結果
2. 保守ならびに微量成分分析に関するアンケートと
りまとめ報告
3. 自発研究報告

蛍光 X 線分析分科会 開催日: 10 月 28 日。出席者:
川村主査, ほか 36 名。

1. 蛍光 X 線分析法の JIS 案の審議

化学分析分科会 開催日: 10 月 28 日。出席者: 新見
主査, ほか 40 名。

1. 鉄鋼中 S, Nb, Cu, N の定量方法の審議
2. 鉄および鋼の原子吸光分析方法
 - (1) 共同実験案および実験結果の審議
 - (2) 原子吸光分析法 JIS 案の様式, 構成の検討
ならびに意見

鋼中非金属介在物分析分科会 開催日: 10 月 29 日。
出席者: 成田主査, ほか 22 名。

1. 「鋼中の炭化物抽出定量法」に関する第 1 回共同
実験について
2. 「鋼中の炭化物抽出定量法」に関する第 2 回共同
実験について
3. 「鋼中非金属介在物の定量法」に関する自発研究
の発表

計測部会

第 31 回秤量分科会 開催日: 11 月 17, 18 日。於本
郷学会館。出席者: 中沢主査, ほか 37 名。

1. 研究発表
 - (1) 貯鋳槽在庫管理システムの精度と信頼性につ
いて (神鋼・加古川)
 - (2) 自動零点調整装置付コンペヤスケールにつ
いて (住金・小倉)
 - (3) コンペヤスケールの零点変動について (住
金・和歌山)
 - (4) ロードセル式コンペヤスケールについて

(鋼管・福山)

- (5) 焼結部門における秤量設備と保守管理状況
(新日鉄・室蘭)
- (6) 鋼塊秤量機の改造について (鋼管・京浜)
- (7) 酸洗コイル秤量機について (新日鉄・名古
屋)
- (8) 溶銑秤量機改造 (鋼管・京浜)

2. 幹事報告

- (1) 秤量分科会の運営アンケートまとめ
 - (2) 電子式秤量機のアンケート案
3. 講演……計量研・高橋照二氏
「大荷重および微小荷重の測定について」

品質管理部会 開催日: 11 月 4, 5 日。出席者: 河西
部会長, ほか 71 名。

共通議題に「製鉄所各工場間 (または製鉄所間) 接点
部門の品質管理に関する問題点と対策の具体例につ
いて」を選び銑鋼工程より最終製品までの各工程間にお
ける鋼塊, 鋼片, 半成品などの品質管理に関し, 接点部門
における現在の管理体制と問題点とその対策について討
議した。また特別講演として, 「訪米鉄鋼自由管理視察
チーム報告」が団長より行なわれた。その他自由議題と
して,

下記の件が報告された。

- 自主管理活動…………… 3 件
QC とコンピューター…………… 3 件
手法事例…………… 1 件

なお, 第 2 日目には, 住友金属工業 (株) 鹿島製鉄所
の工場見学を行なった。

標準化委員会

機械試験法分科会 開催日: 10 月 26 日。出席者: 吉
沢主査, ほか 14 名。

1. ISO, R83 鋼のシャルピー衝撃試験機 (U ノ
チ) の改正

Joule (1 Joule = 0.102 kg m) への切換えのための改
正であるが, 今後 JIS としては 3 年位を目安に切換え準
備を行なう態度でのぞむことになった。

2. シャルピー衝撃試験機の衝撃値に及ぼす据付け影
響

4, 11, 15, 20, 22 kg m レベルについて据付け 3 条
件における影響を実験した結果, 3 条件による差が把握
できなかつた。さらに詳細な実験計画を立案すること
になった。

開催日: 11 月 11 日。出席者: 吉沢主査, ほか 14 名。

1. シャルピー基準試験片の標準化実験計画

シャルピー衝撃試験機の Direct Check のための基準
試験片に関するこれまでのデータを検討し, 今後行なう
べき ISO 方式および AM-MRC 方式の基準試験片に
関する実験計画の骨子を作成した。

データシート部会 開催日: 10 月 21 日。出席者:
田中部会長, ほか 19 名。

1. 高温引張試験分科会のまとめ報告
2. 構造用鋼の機械的性質分科会のまとめ報告

高温引張試験分科会 開催日: 11 月 15 日。出席者:
長谷川主査, ほか 10 名。

1. 報告書のまとめについて
10月21日開催のデータシート部会において、報告書のスタイル、出版の仕方について要望された事項を検討した結果、各委員で見直すことにした。
2. 今後の進め方について
今後、活動するかどうか検討した結果、クリーブ委員会との関係もあり、今回で一応終了することにした。

構造用鋼の機械的性質分科会 開催日: 11月9日。

出席者: 八巻主査, ほか8名。

1. 報告書のまとめについて
10月21日開催のデータシート部会より要望された、報告書のスタイル、出版方法について検討し、次回までに見直すことにした。
2. 今後の進め方
今後とりあげる鋼種については、SMnC 21, SMn 3, SCr 4, SCr 22, SCM 4, SCM 21 の6鋼種とし、それぞれ担当会社を決めた。

JIS 銑鉄見直し分科会 開催日: 11月10日。

1. 製鋼用銑の改正
低鋼を主目的とした銑鉄で砂鉄を原料として電気炉により製造する銑鉄の化学成分の再検討と、溶鋸炉により製造する3種2号の存続の可否について審議された。
2. 鋳物用銑の改正
1種(普通鋳物用) 2種(可鍛鋳鉄用) 3種(強靱鋳鉄用)の化学成分について、製造実績、使用者側の希望数値をどうJISに反映させるかで活発な論議が行なわれた。

鉄鋼標準試料委員会

開催日: 11月9日。出席者: 池野委員長, ほか19名。

経団連会館 1102号室において以下の点を審議した。

1. フェロアロイとして FNiL, FMoL, Si-Mu, FCrH の順で新規製造することを決めた。
2. 酸素分析専用鋼の頒布価格値下げにつき最近出廻っている MINCO 製標準試料の実体を見極めたうえで後刻決定することとした。
3. 耐熱超合金シリーズはすでに住金、神鋼で引受けってもらうよう内諾を得ているが、ちょうど原子炉材料委員会における同様の計画で原研が入手済みの素材を分譲依頼することになり、シリーズとして50本/種 (Inconel 600, Incoloy 800) を製造することにした。
4. 水素分析専用鋼シリーズの経年変化についての報告があり、好結果を得た。
5. 焼結鋸標準試料についても経年変化を見たが約4年間でも問題は全くなかった。

以上のほかに、標準試料の分譲、製造近況、昭和47年度製造予定、46年度上期収支、47年度予算が報告された。内規細則の改訂についても審議され、承認は次回に持ち越した。

J M T R

開催日: 11月11日。出席者: 長谷川委員長, ほか25名。

これまで当小委員会でもとり扱ってきた照射試験の結果

を原研に設置された JMTR 利用運営委員会に対し総合的なまとめを行ってもらうこととし、当小委員会は47年3月に最終回を持つて閉会したい旨委員長より申し入れがあり承認された。そのあと議事に入った。Fe, Ni, Co の照射試験結果が原研大内委員より報告された。また照射後の各種鉄鋼材料の機械試験結果が、各担当者より説明された。まだ総合的に、判断できるほどにはデータが出揃っていないため詳細については後刻整理される。この他に PC 鋼線小委員会の経過について報告があつた。なお上記 JMTR 利用運営委員会には、当小委より新日鉄、三菱重工、神鋼、早大の委員がそのまま参入することに決定された。

第14回ジェットエンジン用耐熱合金研究委員会

開催日: 10月28日。出席者: 雑賀幹事, ほか19名。

1. 昭和46年度試験計画について
試験方案ならびに試験供試材の発注先が承認された。
2. アンケート(第2回)結果の報告
当委員会参加15社、専用試験機設置希望会社5社。
3. 47年度補助金申請計画について
年内に申請計画を幹事会でまとめる。
4. 専用試験機仕様作成小委員会の設置
試験機設置希望会社委員ならびに当委員会幹事で小委員会を設置して昭和47年度に製作する専用試験機の仕様を決定することになった。
5. 供試材成分、熱処理方法の決定
昭和46年度に使用する供試材の成分ならびに熱処理方法を検討し、統一化した。

鉄鋼基礎共同研究会

溶鋼溶滓部会と総合研究との joint meeting 開催日: 11月8日。出席者: 斎藤部会長, ほか29名。

当部会と「溶鉄、溶滓の輸送現象と界面現象に関する研究」グループとの合同研究会を開催、下記講演を中心に活発な討論が行なわれた。

1. 拡散と反応速度……………名大工 森 一美氏
2. 製錬反応と物性……………新日鉄基礎研 瀬川 清氏
3. 液体構造と諸物性との関連
……………東北大工 江島辰彦氏
4. 表面張力、界面張力の研究方法
……………阪大工 荻野和巳氏
5. 金属-酸化物界面における物質移動と
直流抵抗および交流インピーダンス
……………東京工大 後藤和弘氏

遅れ破壊部会 開催日: 10月22日。出席者: 藤田部会長, ほか14名。

鉄鋼協会会議室において開催された。研究発表は以下の通り。

1. 純鉄単結晶の水素吸蔵によるコッセル線変化について
山口大 蒲池 一義
2. 数種の強力鋼の遅れ破壊感受性の評価
金材技研 青木 孝夫

新入会員名

(昭和46年7月1日～7月31日)

正 会 員							
和才 忠司	新日本製鉄(株)	丸 洋一	京都大学, 冶金学教室 助手	草開 清志	〃	〃	〃
原 久典	〃 堺製鉄所	椎野 敏宏	住友金属工業(株) 和歌山製鉄所	芝本 一	〃		
広瀬喜久司	〃 名古屋製鉄所	添田 暉平	日本鑄鍛鋼(株)鍛鋼課	島田 俊	〃	工, 金属工学	
青野 照彦	〃 広畑製鉄所	青山 修一	大同製鋼(株)築地工場	瀬川 吉夫	〃	工, 金属工学	
岡村 宣夫	〃 八幡製鉄所	赤江 貞雄	(株)不二越 東富山製鋼所	谷 哲雄	〃	〃	〃
原口 博	〃 技術研究所	石川 寛徳	本田技研工業(株) 埼玉製作所	高崎 惣一	〃	〃	〃
有原 和彦	〃 基礎研究所	氏原 誠	太平金属工業(株)	平沢 勉	〃	〃	〃
鈴木 堅市	〃	小沢 晨哉	周南電工(株)周南工場	松田 雅秋	〃	工, 金属工学	
高橋 稔彦	〃	片岡 秀晃	安川電機製作所東京工 場	南 常夫	〃	〃	〃
森川 博文	〃	斎藤 佳稔	鹿瀬電工(株)	宮本 富士	〃	〃	〃
中村 峻之	(株)神戸製鋼所 浅田基礎研究所	佐々木 茂生	フォセコジャパンリミ テッド	若生 敏郎	〃	〃	〃
山本浩太郎	〃 中央研究所	長沼 静	三菱重工業(株) 広島研究所	岩瀬 正則	京都大学, 大学院, 冶 金		
八木 直臣	〃	福島 俊幸	船橋製鋼(株) 連続鑄造係	内山 休男	〃	〃	工学
松村 哲夫	〃	松岡 秀郎	三菱重工業(株) 広島造船所	北尾 幸市	〃	〃	冶金
関 和幸	〃	三次 隆	日本軽金属(株)技術部	日野 通	〃	〃	工学
金子 晃司	〃	森沢 勝行	寿工業広製作所	八十 逸雄	〃	〃	工学研究
深水 章一	川崎製鉄所	横山朝次郎	赤城合金(株) 大間々工場	吾妻 正敏	大阪大, 大学院, 冶金		
畑 俊彦	〃 技術研究所	渡辺 健彦	東京工大, 大学院, 博 士課程	加藤 俊二	〃	〃	〃
岡村 涌亮	〃 千葉製鉄所	岡本 謙一	富山大学	藤田 米章	〃	〃	〃
槍崎 義一	川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	押谷 明	〃 工, 金属工学	大西 公雄	鉄鋼短大, 鉄鋼工学		
鈴木 勝也	日本鋼管(株) 京浜製鉄所	久保 武	〃	店橋 数政	〃	〃	〃
小峰 勇	〃			菊田 和幸	東北大, 大学院, 工学 研究		
矢田 誠	日新製鋼(株)呉製鉄所			橋 茂幸	大阪府立大, 大学院, 工学研究		
中本 一成	〃 呉研究所			古川 和博	九州大, 工, 鉄鋼冶金		
坂野 仁	日立金属(株)安来工場			竹元 克寛	九州工業大, 工, 金属		
小林 明男	〃			古河 洋文	〃 大学院, 金属加工		
古川 光朗	日本ステンレス(株) 直江津製造所						

外国会員

Mr. Mamoru Nagata, Brasil

(昭和46年8月1日～8月31日)

千葉 芳孝	日立金属(株) 安来工場冶金研究所	岩岡 昭二	〃 西宮工場 材料研究所	新原 一三	〃 呉興業(株)検査
石川 皓巳	住友金属工業(株) 和歌山製鉄所	柴田 隆雄	(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所	田中 久	日本鋼管(株)製鋼工場
森 明義	〃	俵 正憲	日新製鋼(株)呉製鉄所	玉田 公	新日本製鉄(株)
福井 敬	〃 中央技術研究所	森北 周次	〃	野村 光男	〃 君津製鉄所
岩崎 雅昭	住友電気工業(株) 伊丹製作所	新網 章一	新日本製鉄(株) 堺製鉄所	初沢 豊	周南電工(株)周南工場
石川 正明	川崎製鉄(株) 水島研究室	谷山 光哉	〃 八幡製鉄所	松田 順二	中外炉工業(株)
石田 和博	〃 水島製鉄所	寺上 隆博	〃 室蘭製鉄所		
田川 義輝	〃 千葉製鉄所	馬越 和夫	フォセコ ジャパン リミテッド		
		川口 寛二	東京芝浦電気(株)		

外国会員

Dr. Antonio Porta Italsider S. P. A.,
Italy
Dr. Ing. Guisepppe Procopio Ital-
sider S. P. A., Italy

(昭和 46 年 9 月 1 日~9 月 30 日)

正 会 員			大河内敏博	〃	〃	紡方 知博	〃
泉	東洋	中央化成(株)	木村 秀明	〃	〃	成田 忠生	〃
管野	文夫	東京トクデン工事(株)	高橋 久	〃	〃	田中 希親	三菱製鋼(株)
昆野	昭三	東北砂鉄鋼業(株)	森 英朗	〃	〃		宇都宮製作所
		大湊製鉄所	平 啓三	〃	堺製鉄所	保坂 信義	(株)日立製作所
斎藤	寿一	大平洋金属(株)	鈴木 節夫	〃	製品技術研究所		機械研究所
		富山工場	渡辺 四郎	〃	〃	大谷 尚史	川崎製鉄(株)西宮工場
平	忠明	日本鋼管(株)	岡村 義弘	〃	基礎研究所		学 生 会 員
		福山製鉄所	小林 勝明	〃	八幡製鉄所	張 博	京都大学, 工学研究科
辻	正幸	川崎製鉄(株)知多工場	福田 敬爾	〃	〃		博士課程
中川	義清	三菱重工業(株)	大西 一男	住友金属工業(株)		古市 潤二	東京工業大学, 大学院
		広島研究所		和歌山製鉄所			生産機械科
安井	元一	矢作製鉄(株)	松川 靖	〃	〃	細谷 陽三	大阪大学, 大学院, 工
		企画研究室	吉田 興一	住友電気工業(株)			学研究科
稲山	邦彦	新日本製鉄(株)		特殊線事業部			外 国 会 員
		名古屋製鉄所	荒木 興雄	関東特殊製鋼(株)			Mr. Husni Bandjar, Indonesia

(昭和 46 年 10 月 1 日~10 月 31 日)

正 会 員			小川 鹿松	東北砂鉄鋼業(株)		石神 理	熊本大, 工, 金属
秋本	宏	(株)日本製鋼所		大湊製鉄所		打出 興司	〃 〃 〃
		室蘭製作所	尾崎 真純	(株)日本工業試験所		内野 文雄	〃 〃 〃
稲葉	雅和	日立金属(株)	折橋 幸雄	富山電工(株)滑川工場		浦川 善友	〃 〃 〃
		安来工場製鋼部	白沢 檀	大平洋金属(株)		江川三千夫	〃 〃 〃
河合	夏樹	〃 〃 企画		八戸工場		大久保房信	〃 〃 〃
伊達	靖	〃 〃 品質管理	田中 淑稜	矢作製鉄(株)		柿本 文夫	〃 〃 〃
奥野	忠司	日立造船(株)		企画研究室		木部 哲也	〃 〃 〃
猪狩	卓	特殊製鋼(株)研究所	田中 有三	日本精工(株)		黒木 恒為	〃 〃 〃
工藤	純一	川崎製鉄(株)		軸受技術部		坂田 政民	〃 〃 〃
		千葉製鉄所	辻 哲甫	三菱重工業(株)		坂本 広徳	〃 〃 〃
垣内	博之	〃 西宮工場		広島造船所		竹下雅治郎	〃 〃 〃
谷口光次郎		〃 〃	土田 浩	石川島播磨重工業(株)		竹本 重成	〃 〃 〃
杉田屋 卓		(株)神戸製鋼所	堀井 健男	大平金属工業(株)		平山 秀伸	〃 〃 〃
		加古川製鉄所		技術部		吉永 満裕	〃 〃 〃
杉谷	博	〃 〃	学 生 会 員			石部 英臣	芝浦工大, 工, 金属
長岡	豊	〃 中央研究所	名田 育正	九州大, 工, 冶金		坂井 保	〃 〃 〃
和出	昇	名古屋大学, 鉄鋼工学	木下 隼人	鉄鋼短期大, 鉄鋼			外 国 会 員
		科助手	村上 登	〃 〃			Dr. N. Chatterjee W. S. Atkins &
釈舎	康紘	新日本製鉄(株)	山田 広宣	〃 〃			Partners, England
		堺製鉄所	藤岡 幸夫	大阪大, 工, 冶金		洪 鍾 烈	釜山市東萊区望美洞
生島	永一	(株)興国鉄鋼所	渋谷 佳男	富山大, 工, 金属			475, 韓国
石原	利郎	日本鋼管(株)	高島 康夫	〃 〃 〃			
		福山製鉄所	呂 芳一	東京工業大, 金属博士			

(昭和 46 年 11 月 1 日～11 月 30 日)

正 会 員					
青田 健一	(株)神戸製鋼所	寺井 敏雄	日本製鉄KK	市橋 信二	日本電工徳島工場
	中央研究所	山崎 信一	日本製鋼所室蘭製作所	萩原 晴康	日本工業大, 機械工学 科助手
石田 隆一	〃 〃	藤原 義雄	淀川製鋼所泉大津工場	美浦 康宏	九州大, 工学部冶金学 教室講師
大池 美雄	〃 〃	吉川 忠克	大平洋金属(株) 富山工場	佐野 毅	〃 〃 助手
川口二三一	〃 〃	野崎 義弘	KK不二越 東富山製鋼所	学 生 会 員	
長田 範人	〃 〃	塩田 武志	特殊製鋼(株)	柴山 卓真	名古屋大, 工, 鉄鋼
末広 女生	(鉄)開発部	佐々木久之	日新製鋼KK呉製鉄所	平岩 正	〃 〃 〃
元田 高司	本社	木村 尚	(株)豊田中央研究所	尾崎 弘憲	〃 〃 金属博士課程
岡本 節男	住友金属工業(株) 中央研究所	荻原 研郎	日本鋳業(株) 三日市製錬所	山内 崇賢	〃 〃 大院工学研究科 修士課程
山岡 弘	〃 〃	藤井 邦雄	川崎製鉄(株)原料部	大塚 幸男	京都大, 工, 冶金
市橋 弘行	〃 和歌山製鉄所	小林 勝	(株)日立製作所 横浜研究所	貞目 薫	〃 〃 〃
岩見 紀元	〃 〃	磯江 好徳	日本冶金工業(株) 川崎製造所	平瀬 幸一	九州大, 大院, 鉄鋼冶 金
林 充亨	〃 〃	八木 勇一	川崎炉材(株)赤穂工場	内山 滋	大阪大, 大院, 冶金
市原 卓三	日本鋼管(株) 技術研究室	日渡 浩志	安川電機製作所 東京工場	脇田 三郎	東京工業大, 金属, 大院
佐野 和夫	〃 〃	池永 実雄	東伸製鋼(株) 東京製鋼所	武下 政治	鉄鋼短大, 鉄鋼
谷 三郎	〃 〃	浜崎 芳治	三菱電機(株) 中央研究所	坂田 信二	金沢大, 機械, 大院
長谷川輝之	〃 福山製鉄所	中原 武男	日本精練(株)東京工場	内田 秋夫	九州工業大, 金属加工, 修士
小野 昭紘	新日本製鉄(株) 基礎研究所	石毛 慶一	石毛総鉄(株)	外 国 会 員	
桑島 周次	〃 製鋼技術掛	小野 隆夫	旭硝子(株)名古屋支店	権 億 根	大韓民国慶尚北道浦頂 市浦頂綜合製鉄株式会 社製鋼部, 韓国
嶋 宏	〃 名古屋製鉄所				
野坂 康雄	〃 本社				
津野 昌弘	日立造船(株)桜島工場				
平井 敏夫	〃 重機械設計部				

湯川記念講演会開催お知らせ

本会東海支部では下記により湯川記念講演会を開催致しますので多数ご聴講下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時 昭和 47 年 1 月 20 日 (木) 13:30~15:30

場 所 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部講義室

題目及び講師 “鉄鋼業より見た住宅産業と海洋開発”

新日本製鉄株式会社 監査役 堀 武 雄君